

令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

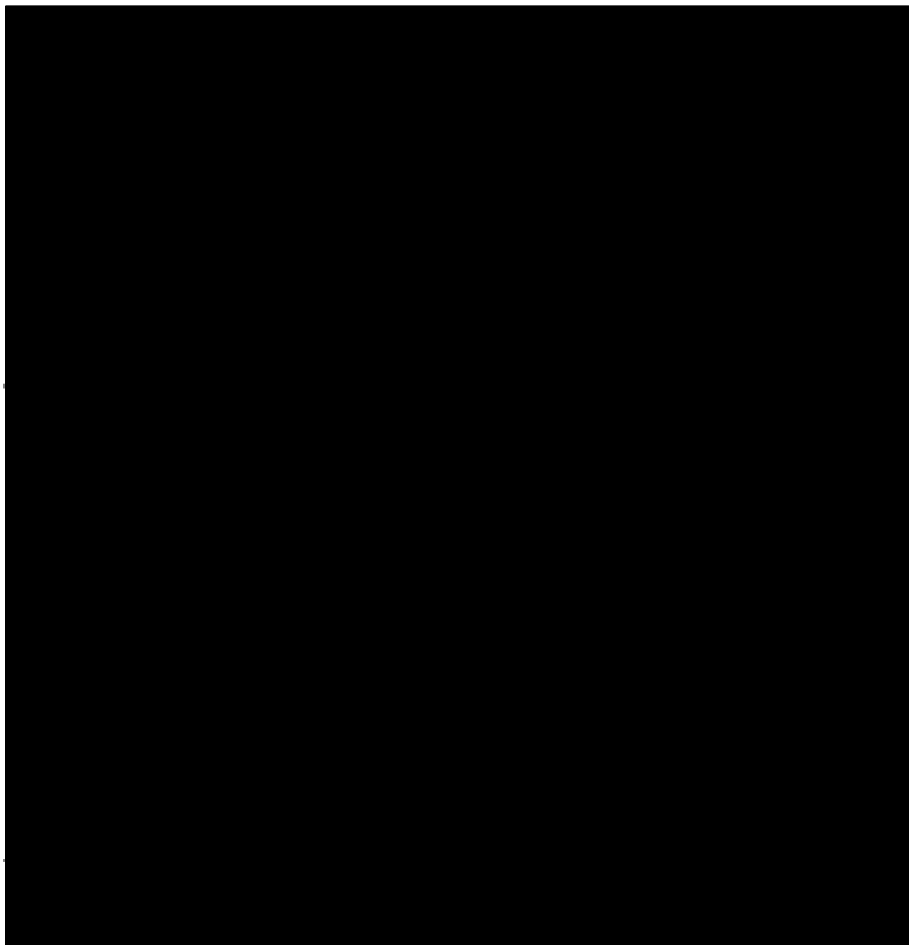
以下の問題Ⅰ～Ⅱは選択問題である。Ⅰ～Ⅱから1つを選んで日本語で答えなさい。

I. 近世から現代までのヨーロッパ史に関して、以下の設問1と2のすべてに答えよ。

1. 以下の選択肢(ア)～(オ)から2つ選び、詳しく解説せよ。

- (ア) 近世ポーランド・リトアニア共和国でみられた混合政体論
- (イ) 第一次イギリス産業革命と資源との関係
- (ウ) 19世紀前半ロシアの西欧派とスラブ派との対立
- (エ) 20世紀後半ヨーロッパにおける環境保護運動と政治
- (オ) ミロ斯拉フ・フロフによる国民形成の三段階論及びその意義と問題点

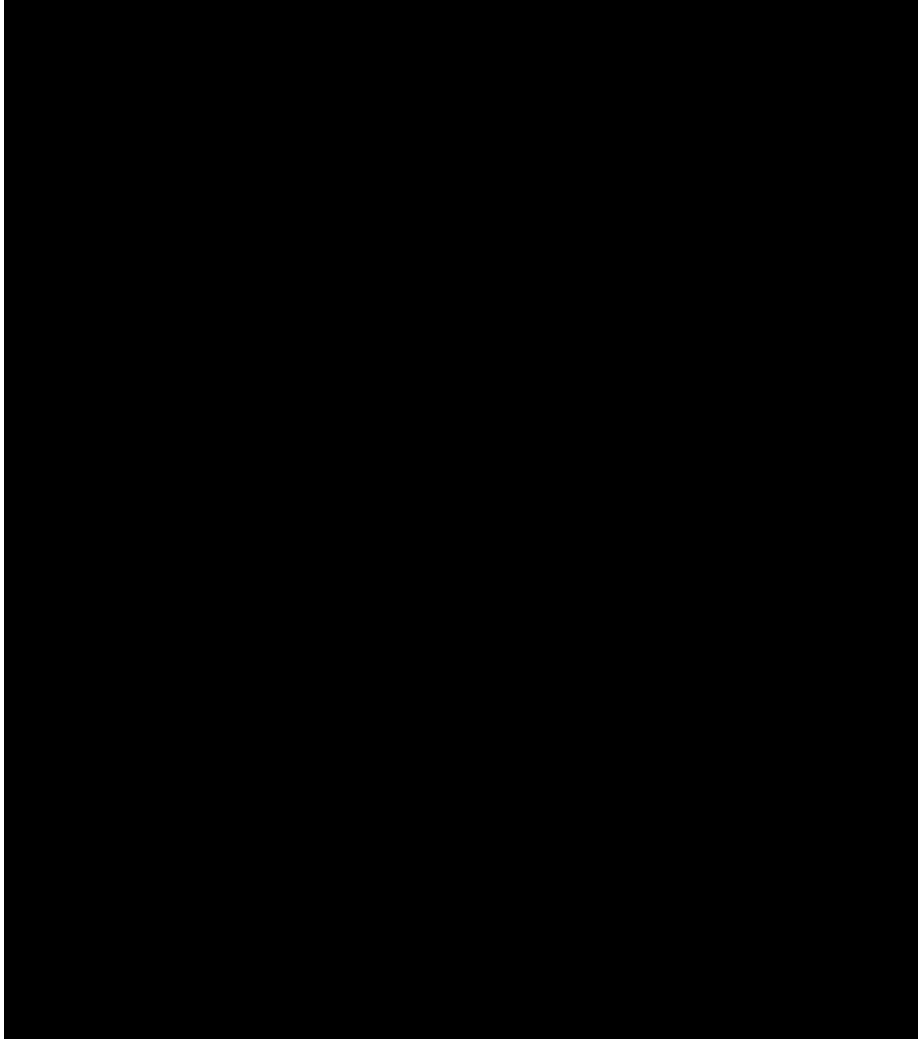
2. 以下の文章(Kevin M. F. Platt, “Occupation versus Colonization: Post-Soviet Latvia and the Provincialization of Europe,” in: Uilleam Blacker, Alexander Etkind, Julie Fedor eds., *Memory and Theory in Eastern Europe* (New York: Palgrave Macmillan, 2013), 125-146の一部)を読み、全文を日本語に翻訳せよ(文章はこのページから次のページにかけて掲載されている)。



令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論



令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

II. 自然と人間のかかわりあいの歴史(環境史)に関して、以下の設問の1～3のすべてに答えよ。

1. 以下の3つの選択肢(ア)～(ウ)から1つ選択し、日本語・中国語・英語・アラビア語の中から2つ以上の言語を選択して、その意味する内容や概念の違いについて比較しながら、環境史(environmental history)すなわち自然と人間のかかわりあいの歴史をふまえて、説明しなさい。

- (ア) 文明(civilization)
- (イ) 砂漠/沙漠(desert)
- (ウ) もてなし(hospitality)

2. 環境影響を定義した上で、「環境影響評価(Environmental Impact Assessment)」の仕組みについて、関連する世界の動向を比較検討しながら論じなさい。

3. 天然資源(natural resources)の具体例をあげながら、それらの資源管理(resource management)を実施する上での課題について、具体的な国もしくは地域と、そのバイオームもしくは生態系の特質を参照しながら、論じなさい(自分の研究関心に引き寄せてもかまわない)。